

僕は、6月30日午前二時の日本対ブラジルのサッカーのワールドカップをみるために、目覚まし時計を午前一時半にセットして、一時半に起きました。下の階に行って、お兄ちゃんもいるかなと思いながら降りると、誰もいませんでした。テレビをつけたら、もうすぐ試合が始まりそうでした。もう一回上の階に上がって、お兄ちゃんの部屋をみると電気が消してあって、ぐっすり眠っていたので、すぐに起こして一緒に観戦しました。結局日本は負けてしまったけれど、みれてよかったです。この経験で、ワールドカップを少ししれたけれど、いつワールドカップが始まったなど、詳しくは知らないなので今回はサッカーワールドカップについて調べました。



ワールドカップは、国際サッカー同盟（FIFA）が開催する、男性のサッカー日本代表の選手によるサッカーの世界選手権大会です。一番最初の第一回目の1930年のワールドカップ以来、第二次世界大戦を除くと、4年おきに開催されています。優勝した国は、優勝トロフィーが送られます。トロフィーは75%純金であり、100%だと柔らかすぎて、すぐに曲がることもあるため、残りの25%は、銀や銅を混ぜて頑丈にしています。

トーナメントのグループ決めは、混乱させないために準備が必要です。まず開催国です。今回のワールドカップは、アメリカ、カナダ、メキシコが開催国だったので、まずその三つの国のチームのグループが一緒にならないようにばらけさせます。次はスペイン／アルゼンチン／フランス／イングランドなどの、強い国は特別にシードがもらえます。そしてFIFAランキングに四位以内に入っている国は、最後まで一緒に戦えないようにします。ワールドカップを始めたのは、国際サッカー連盟（FIFA）第3代会長のジュール・リメ氏です。きっかけは「プロ・アマを問わず、真の世界一を決める大会を作りたい」と強く熱望し、長年の構想の末に1930年のウルグアイ大会を実現させたのが最大のきっかけで。